

## 第2回 旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会次第

日時:令和3年10月26日(火)13:30～

場所:小川総合支所3階 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 前回の内容について

(2) 計画地の概要について

①計画地の現状

②対象施設の現状と課題

・個別施設の概要

(3) 再整備の方向性(案)について

①基本方針(案)の検討

②再整備(案)の検討

(4) その他

4 閉 会

## ●小川地区の地域交流の場所，生涯学習の機能整備が必要

- 生涯学習の機能がないとまずいのではないか。公民館機能を移転・分散と言っても、公民館利用者は高齢化になってきて、夜だけでなく、昼間でも車を運転するのも危ない状況がある。
- 公民館機能を図書館・資料館と一体と考えて、生涯学習の充実を図ってはどうか。
- 必要最低限でも地域の方々が集まり議論できる場所が必要ではないか。

## ●防災機能・避難場所の確保，公園の整備

- 旧小川小学校と小川公民館は指定避難場所になっている。災害の拠点，避難場所となるようなそういった施設が必要ではないか。
- 公民館機能を残しながら，それが避難場所も兼ねるようなものが必要ではないか。
- 広い校庭も活用して，防災基地・防災拠点としてはどうか。
- 旧小川小跡地のグラウンド側に，遊具の整備をしてほしい。

## ●図書館，資料館の充実が必要

- 現状の小川図書館・資料館の場所は，道路から見にくい，行きにくい。
- 小美玉市には3地域にそれぞれ図書館があるが，小川図書館が一番充実している。今後も，充実させて有効活用していく必要があるのではないか。
- 図書館は，遠方から来る人もゆっくりできるようなゆとりある場所になるといい。
- 今のままの図書館・資料館が残っても，駐車場は少なく，二階にはトイレもないなど不自由なため，活用は広がらないのではないか。
- 図書館を中心に，いろいろな人が集えるような施設づくりができたらいのではないか。

## ●歴史と文化・教養のある場所の特性を活かす

- もとは中学校もあった場所で，古くから歴史伝統がある由緒ある場所なので，歴史が消えないように，小川地区の文化拠点になるとよいのではないか。
- 市内には，小川資料館のほかに玉里史料館もある。これらを「小美玉資料館」として一つにしてもよいのではないか。

## ●廃校跡地のモデルケースに

- いろいろな地区の廃校の利活用問題が控えている。旧小川小跡地はモデルケースになると思う。
- 義務教育学校を整備した関係で，廃校跡地がどんどん出てくる。ただ体育館を残して，芝生の広場にするだけにならないよう，検討すべき。

## ●その他

- 素鷲神社は参拝客が非常に多いが，アクセス道路が狭い。素鷲神社の参拝客が周辺で食事をしたりする場所がない，という声もある。
- 次回，検討委員会には，玉里史料館，玉里公民館，やすらぎの里の現状について情報提供してほしい。

## 2-1. 計画地の現状

敷地面積		都市計画		敷地利用		敷地条件等		法令適合・保有機能等		用途別集計		
旧小川小学校	19,956㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域	駐車場	利用者用	台	埋蔵文化財	煙突アスベスト	用途区分	棟数	延床面積	
旧小川幼稚園	3,072㎡	用途地域	第一種住居地域		職員用	台	地盤沈下	消防用水				使用建物
旧防衛協会茨城出張所	697㎡	容積/建蔽率	200%/60%	駐輪場	その他	台	汚水処理(下水接続)	避難所指定	廃止(校舎等)	3	4,133㎡	
小川公民館	5,504㎡	日影規制	5h-3h/4m		駐輪場面積	㎡	グラウンド散水装置	昇降機	廃止(体育館)	1	733㎡	
小川図書館	2,475㎡	防火・準防火	指定なし	台数	台	敷地測量	自家発電装置	倉庫等	2	130㎡		
小川資料館	210㎡	防火地域(法22条指定地域)	指定なし	屋外運動場	㎡	地目	ガス					
第6分団消防機庫(大町)									給水設備			
				災害指定等			電気設備					
合計	31,914㎡				土砂災害・急傾斜	指定有			合計	8	7,543㎡	



⑤ 体育館へも階段でアプローチ



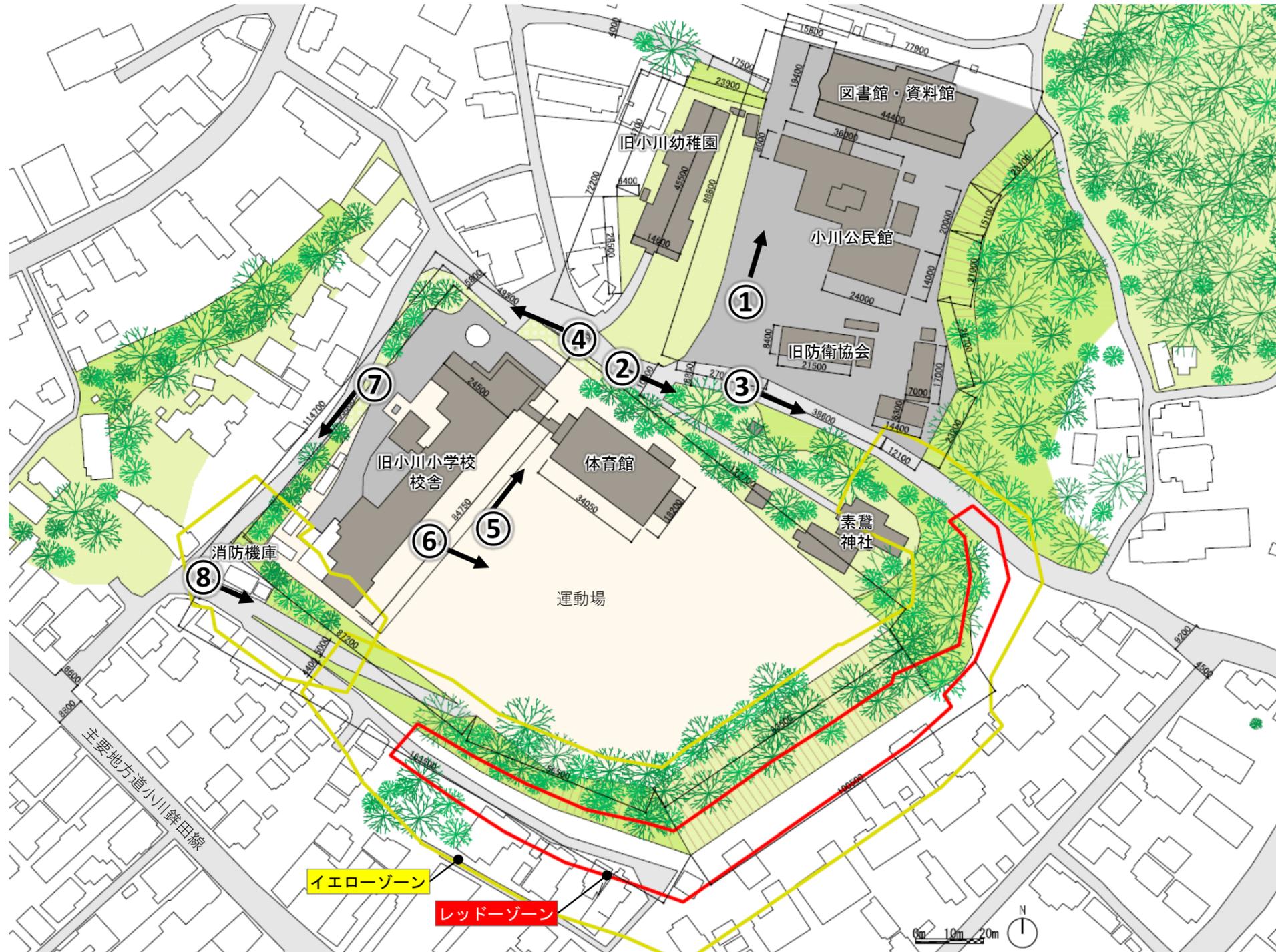
⑥ 校舎と運動場のレベル差(約2.2m)



⑦ イエローゾーン  
(土地の形状変更には県への届出必要)



⑧ 左側を上がると運動場へ



① 小川公民館を正面から



②



③ 縁石で歩道を区画



④

※イエローゾーン（土砂災害警戒区域：土砂災害防止法施行令第二条）， レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域：土砂災害防止法施行令第三条）

## 2-2. 対象施設の現状と課題

### ① 概要情報

#### ■ 旧小川小跡地周辺施設

NO	名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	経過 年数	構造 (主たる建物)	耐震安全性			備考
						基準	診断	補強	
1	旧小川小学校 (校舎)	3,475	昭和44	52	RC造	旧耐震	済	済	H31年3月閉校
	旧小川小学校 (体育館)	733	昭和47	49	S造	旧耐震	済	済	
2	旧小川幼稚園	514	昭和47	49	RC造	旧耐震	未		H21年3月閉園
3	旧防衛協会茨城出張所	144	昭和43	53	CB造	旧耐震	未		H24年度閉鎖
4	小川公民館	1,268	昭和47	49	RC造	旧耐震	未		
5	小川図書館	867	平成3	30	RC造	新耐震	—	—	
6	小川資料館	490							
7	第6分団消防機庫 (大町)	50	昭和61	35	S造	新耐震	—	—	

#### ■ その他の周辺施設

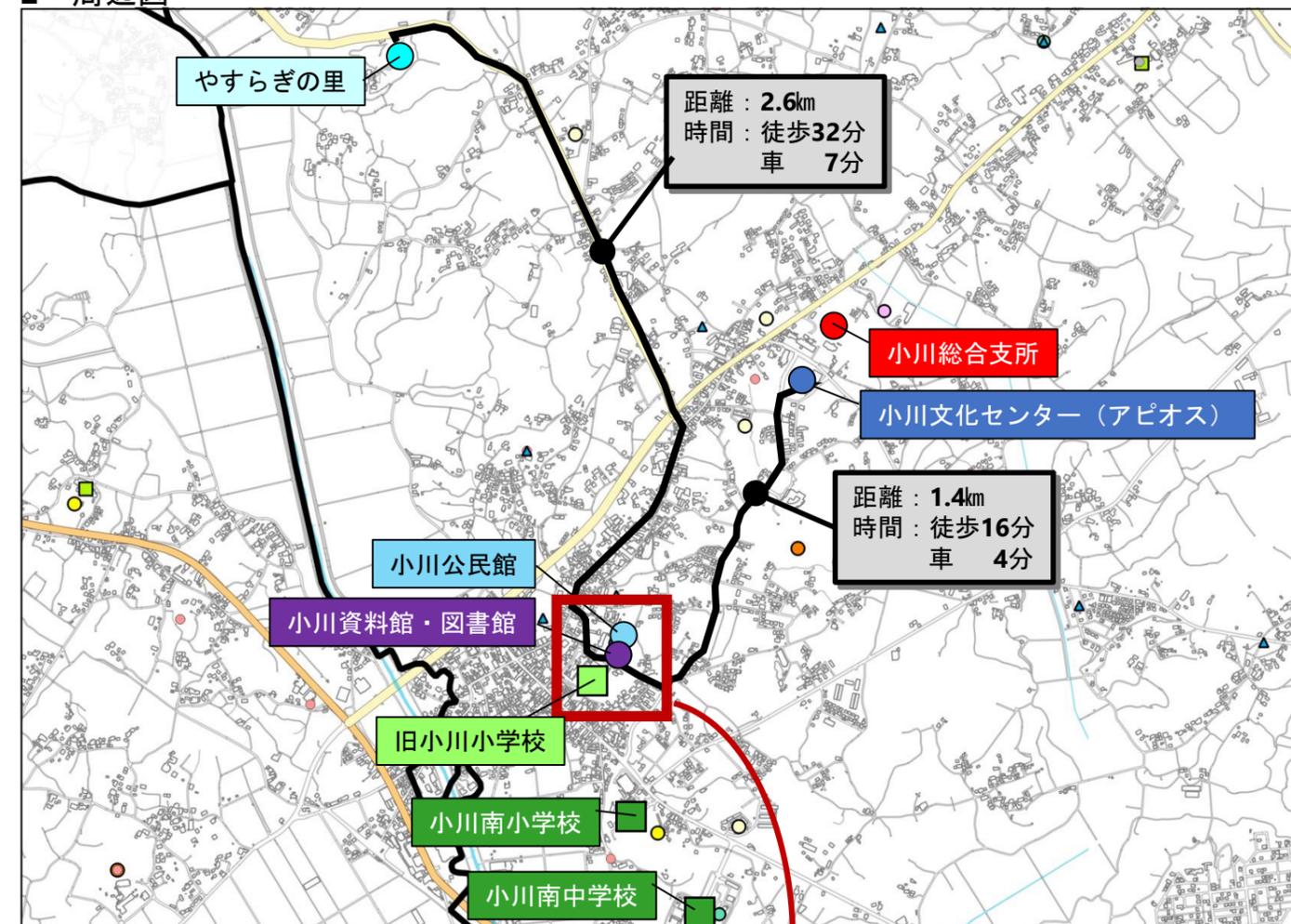
NO	名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	経過 年数	構造 (主たる建物)	耐震安全性			備考
						基準	診断	補強	
8	小川総合支所	2,868	昭和48	48	RC造	旧耐震	済	済	
9	小川文化センター (アピオス)	4,716	昭和57	39	RC造	新耐震	—	—	
10	やすらぎの里小川	1,285	平成6	27	W造	新耐震	—	—	
	華道棟	173	平成6	27	W造	新耐震	—	—	
	文芸棟	176	平成6	27	W造	新耐震	—	—	
	管理研修棟	370	平成6	27	W造	新耐震	—	—	
	書画棟	127	平成6	27	W造	新耐震	—	—	
	茶道棟	168	平成6	27	W造	新耐震	—	—	
	展示廊	85	平成6	27	W造	新耐震	—	—	
	公衆便所	41	平成6	27	W造	新耐震	—	—	
	本間宅復元	144	平成7	26	W造	新耐震	—	—	
11	小川南小学校 (体育館)	2,142	平成9	24	RC造	新耐震	—	—	
12	小川南中学校 (体育館)	2,805	昭和60	36	RC造	新耐震	—	—	

#### 参考) 玉里地区の主な施設

NO	名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	経過 年数	構造 (主たる建物)	耐震安全性			備考
						基準	診断	補強	
13	生涯学習センター (玉里公民館)	689	平成6	27	RC造	新耐震	—	—	
14	生涯学習センター (玉里文化ホール)	2,187							
15	玉里図書館	790							
16	玉里史料館	339							

### ② 配置状況

#### ■ 周辺図



#### ■ 計画地

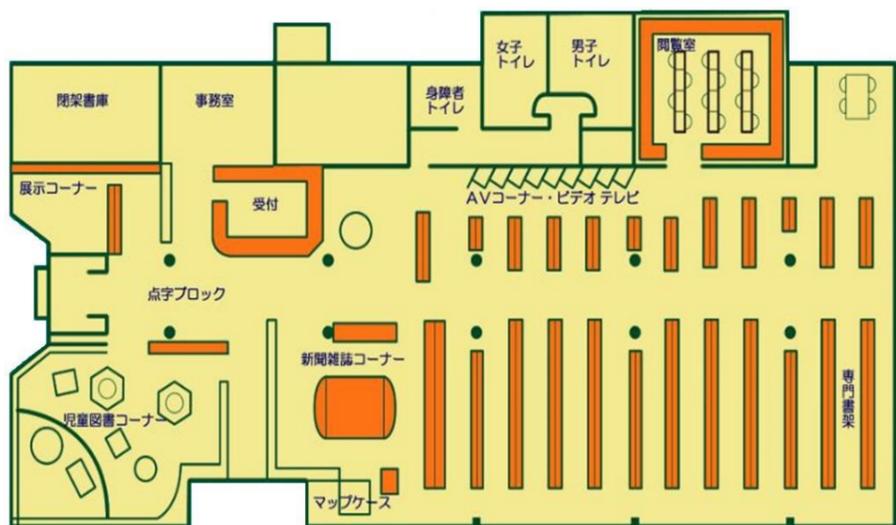


① 施設概要

■ 小川図書館

開館時間	休館日	事業内容
午前9時30分～午後8時まで（祝日は午前9時30分～午後5時まで）	月曜日，月末整理日，年末年始	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書資料の収集整備</li> <li>図書館奉仕活動と利用促進等図書館法第3条に掲げる事業</li> </ul>

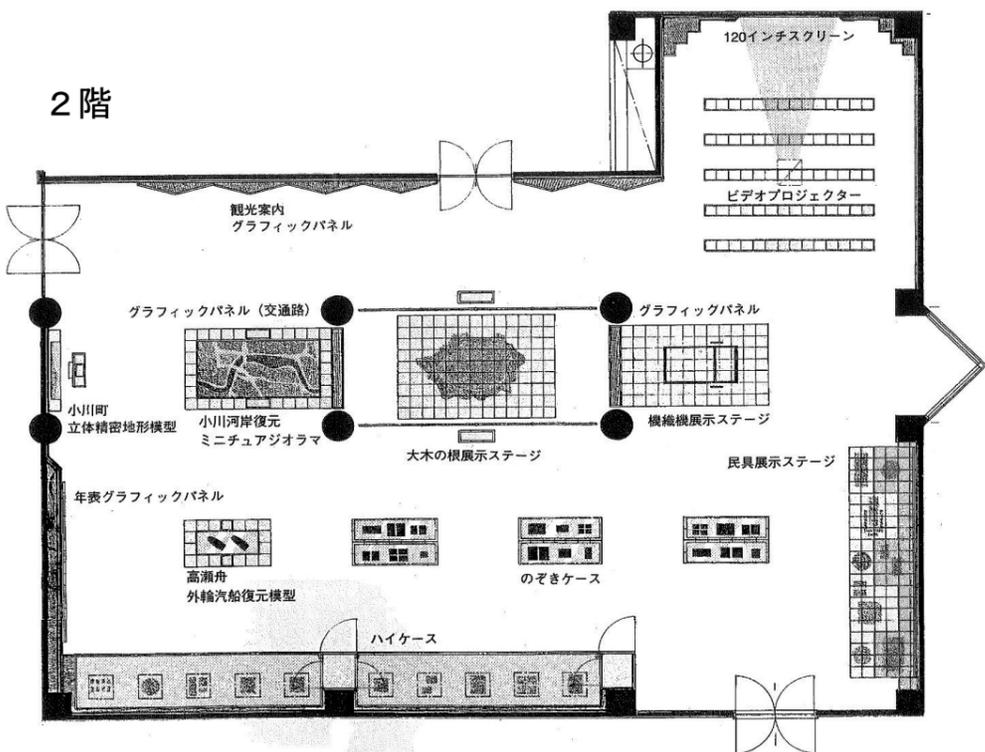
1階



■ 小川資料館

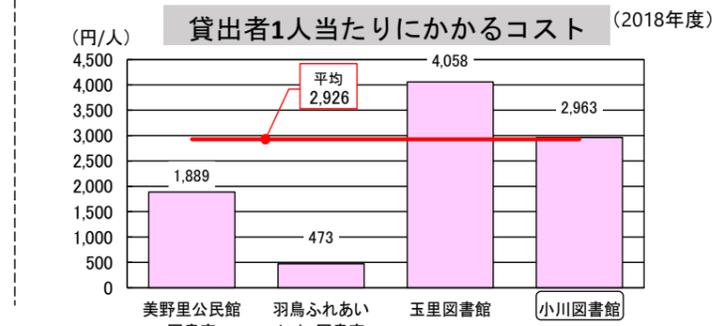
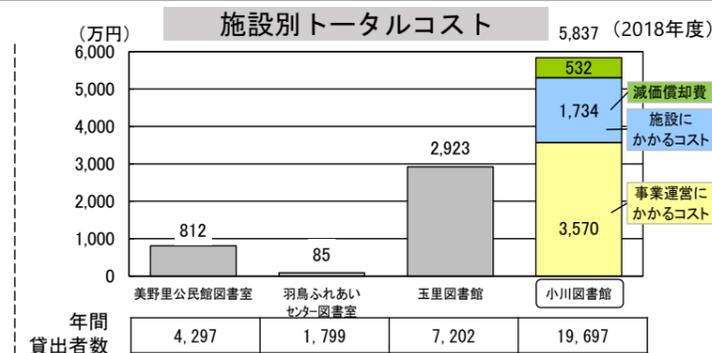
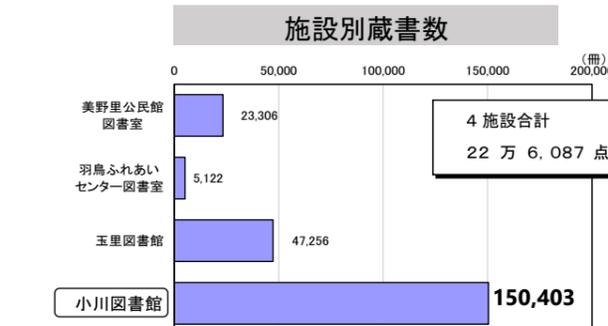
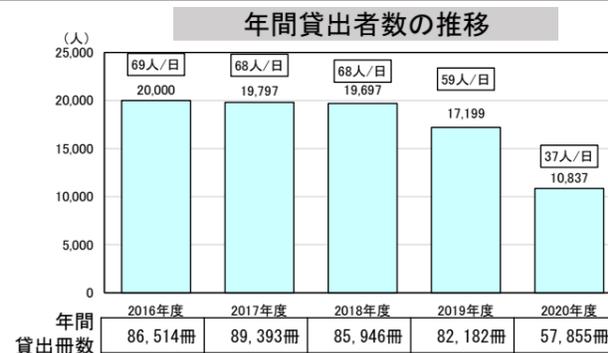
開館時間	休館日	事業内容
午前9時30分～午後6時まで（土日は午後5時まで）	月曜日，年末年始，資料整理日	資料の収集，保管及び展示・調査研究

2階

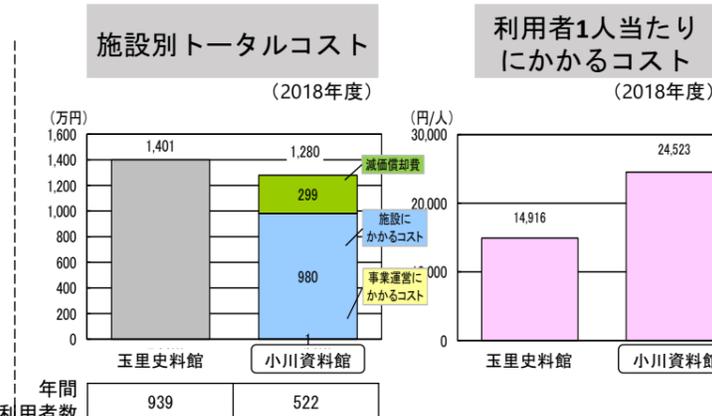
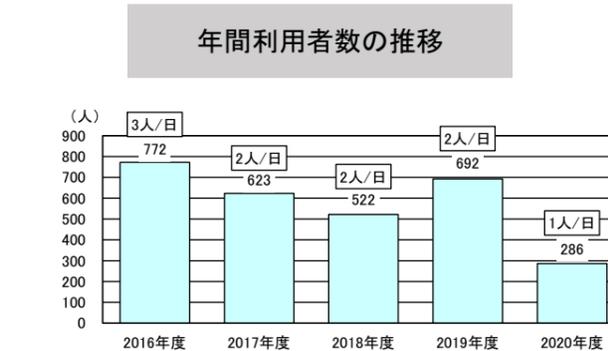


② 利用状況，コスト状況

小川図書館



小川資料館



コストデータ：「小美玉市公共施設等総合管理計画」より

③ 施設の実態，前回の意見等による課題

<実態データより>

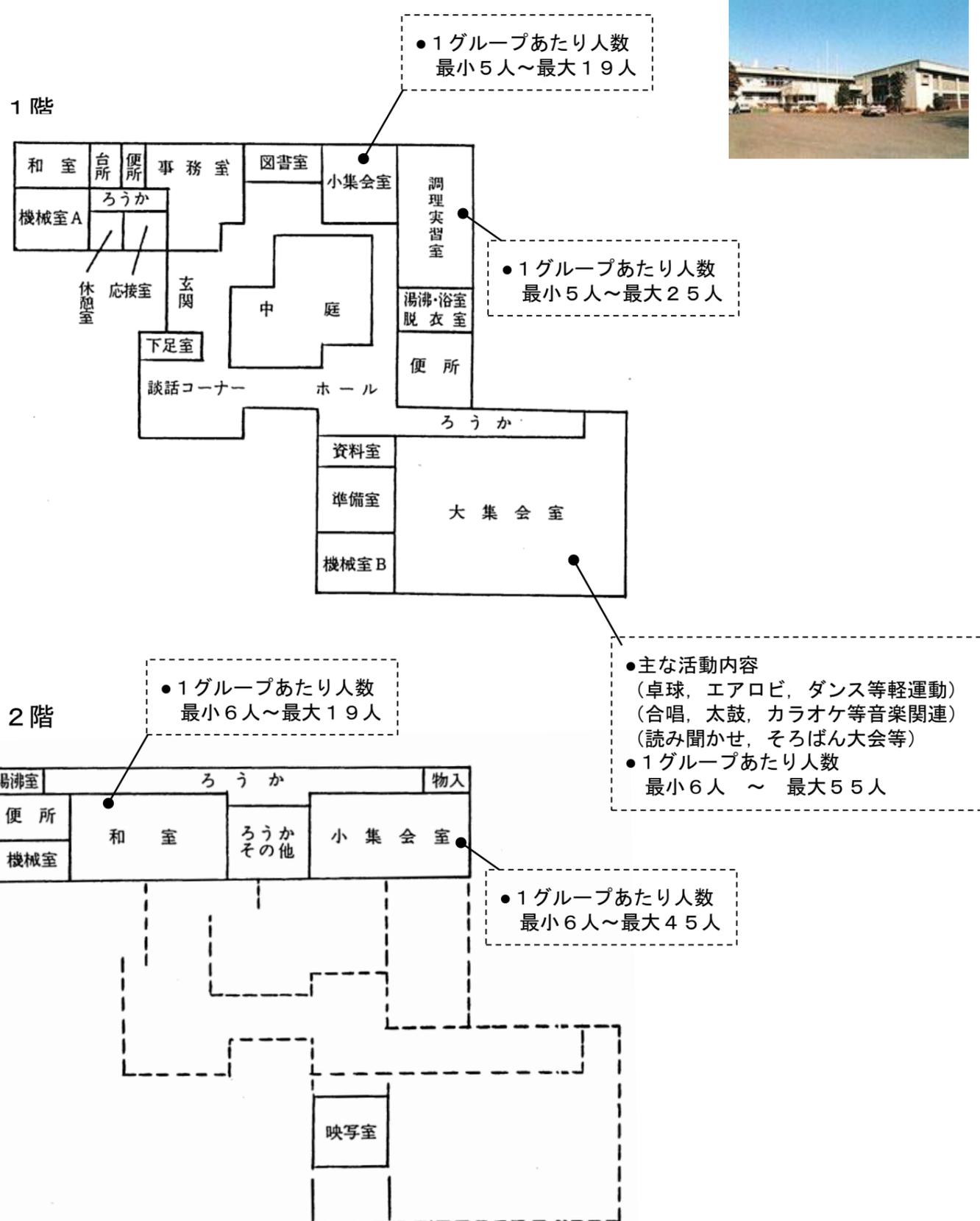
- 小川図書館は，直近4年間の貸出者数は約1.7万～2.0万人，貸出冊数は約8.2万冊～9.0万冊です。2020(R2)年度は，新型コロナウイルス感染症の影響で貸出者数・貸出冊数ともに例年より少なくなっています。
- 小川図書館の2018年度年間トータルコストは約5,837万円，貸出者1人当たりコストは2,963円となっています。
- 小川資料館は，直近4年間の利用者数は522人～772人，2020(R2)年度は286人です。
- 小川資料館の2018年度年間トータルコストは約1,280万円，利用者1人当たりコストは24,523円となっています。

<前回の主な意見>

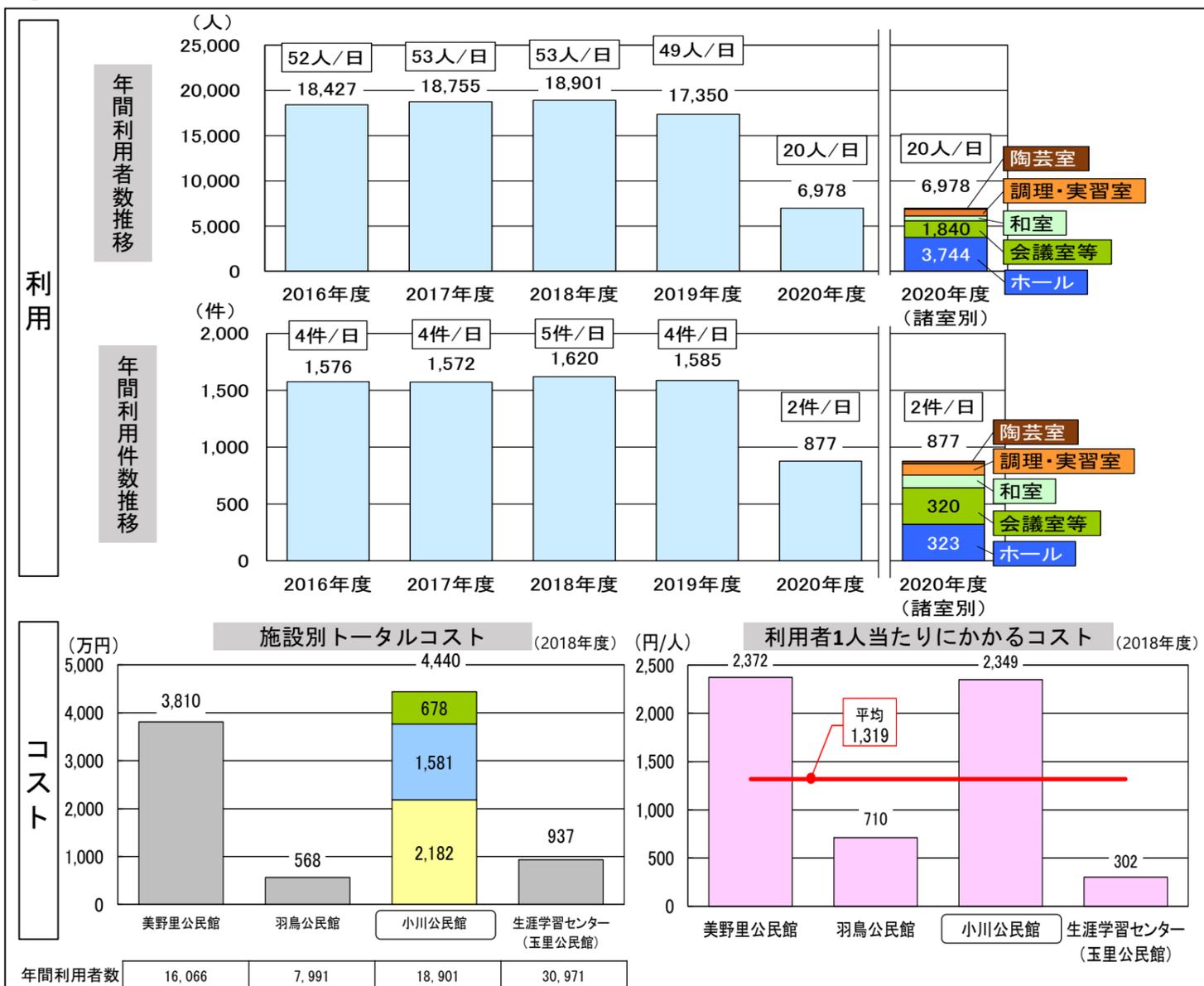
- 現状の小川図書館・資料館の場所は，道路から見にくい，行きにくい。
- 今のままの図書館・資料館が残っても，駐車場は少なく，二階にはトイレもないなど不自由なため，活用は広がらないのではないか。

① 施設概要

開館時間	休館日	事業内容
午前9時～午後10時まで	年末年始	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種サークル活動（パソコン教室、着付け教室、手芸、コーラス、健康教室、民舞など）</li> </ul>



② 利用状況、コスト状況



コストデータ：「小美玉市公共施設等総合管理計画」より

③ 前回の意見

<実態データより>

- 直近4年間の利用者数は約1.7万～1.9万人、利用件数は1,572件～1,620件です。2020(R2)年度は、利用者数6,978人、利用件数877件と、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数・利用件数ともに例年より少なくなっています。
- 2020年度諸室別の利用者数は、ホール利用が3,744人（約54%）、会議室等は1,840人（約26%）で、ホール・会議室等とも、年間320件程度利用されています。
- 2018年度年間トータルコストは約4,440万円、利用者1人当たりコストは2,349円となっています。

<前回の主な意見>

- 絵本の読み聞かせなどボランティア活動を公民館で行っている。そういった活動ができる場が必要ではないか。
- 地域交流の拠点、生涯学習の拠点は地域の身近な場所にあるべきではないか。

① 施設概要

開館時間	休館日	事業内容
午前9時～午後5時まで	月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）、年末年始	・ やすらぎの里まつり、講座の開催、施設の貸出



研修室・事務室・ロビー



外観は和風だが、中は2つの洋室で構成



書院茶室・草庵茶室・水家がある本格派



8畳・10畳・12畳の和室



10畳と15畳の和室、作品発表の場となる小展示場

① 施設概要

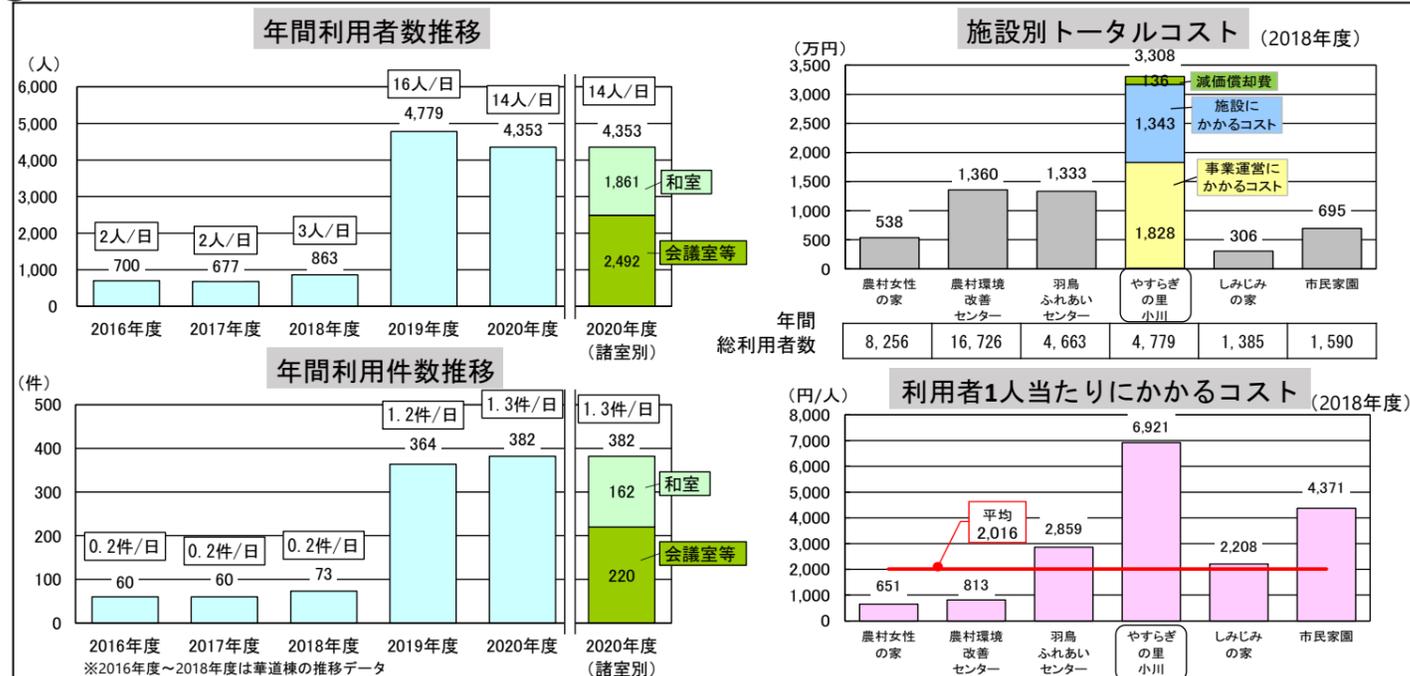
開館時間	休館日	事業内容
午前9時～午後10時まで（夜間の利用が無い場合は、午後5時15分まで）	月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）	・ 芸術文化の振興と教養の高揚を図り地域コミュニティづくりの普及向上に寄与する事業

大ホール（固定・1,075席）

小ホール（可動・200席）

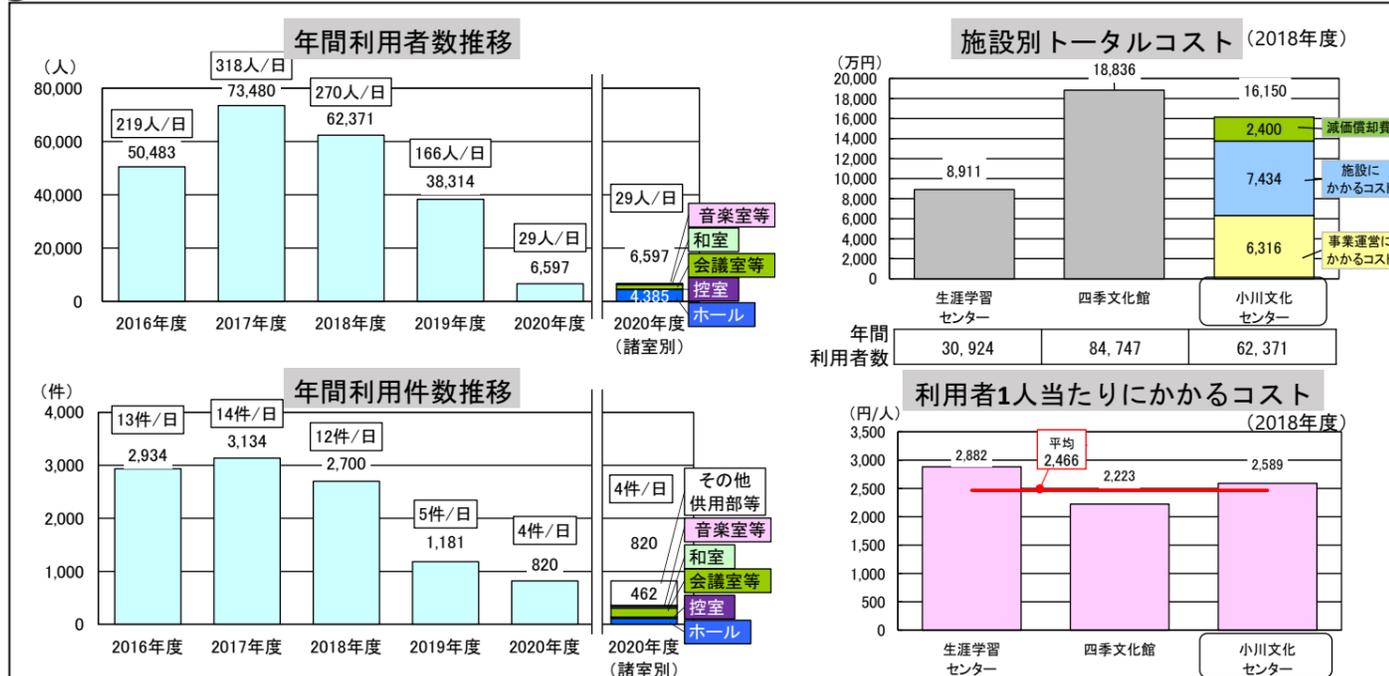
会議室2

② 利用状況，コスト状況



コストデータ：「小美玉市公共施設等総合管理計画」より

② 利用状況，コスト状況

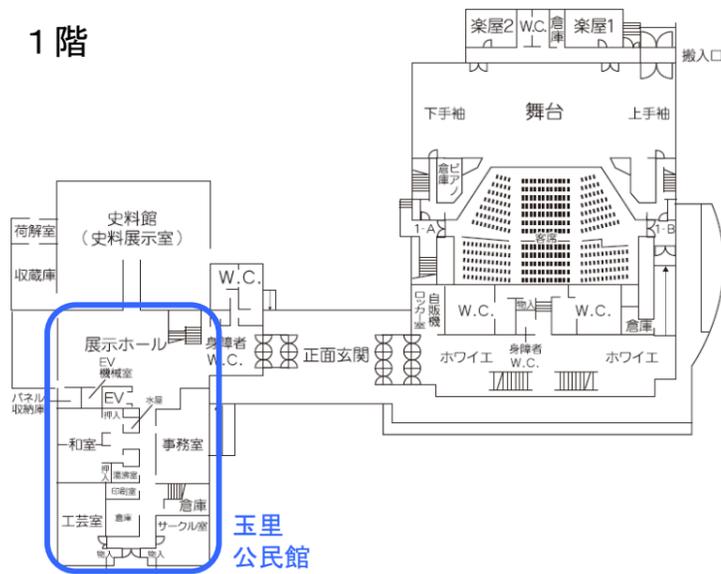


コストデータ：「小美玉市公共施設等総合管理計画」より

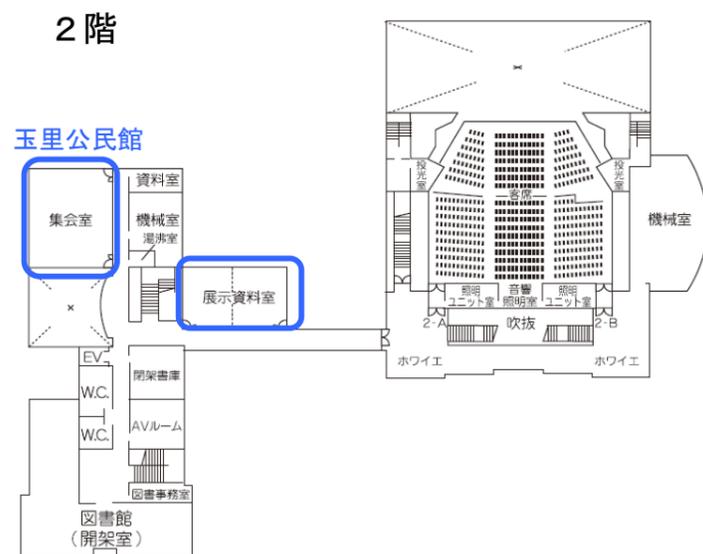
① 施設概要

開館時間	休館日	事業内容
午前9時～午後10時まで	月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、祝日、年末年始	各種サークル活動（パソコン教室、着付け教室、手芸、コーラス、健康教室、民舞など）

1階



2階



サークル室

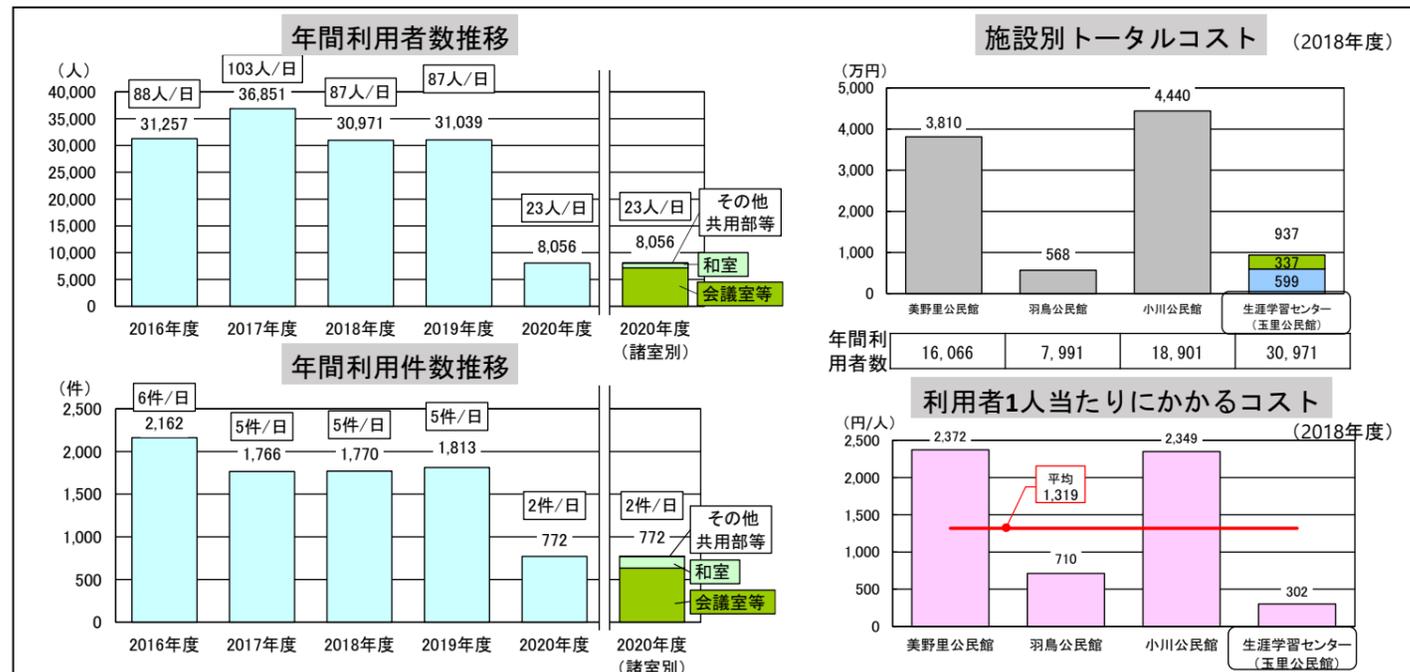


展示資料室



和室

② 利用状況, コスト状況

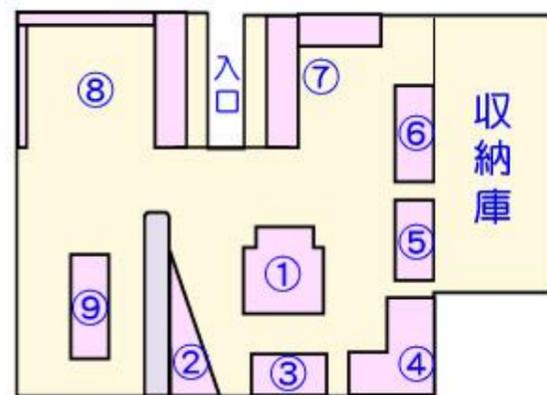


コストデータ：「小美玉市公共施設等総合管理計画」より

① 施設概要

開館時間	休館日	事業内容
午前9時30分～午後6時まで	月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、祝日、年末年始	保管資料に関する専門的な調査研究

展示室案内図



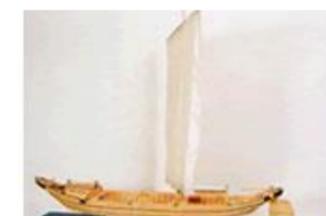
- ①地形模型・ビデオ・旧石器時代
- ②縄文時代
- ③弥生時代
- ④古墳時代
- ⑤古代
- ⑥中世
- ⑦近世
- ⑧近・現代
- ⑨参考展示



古墳時代の展示

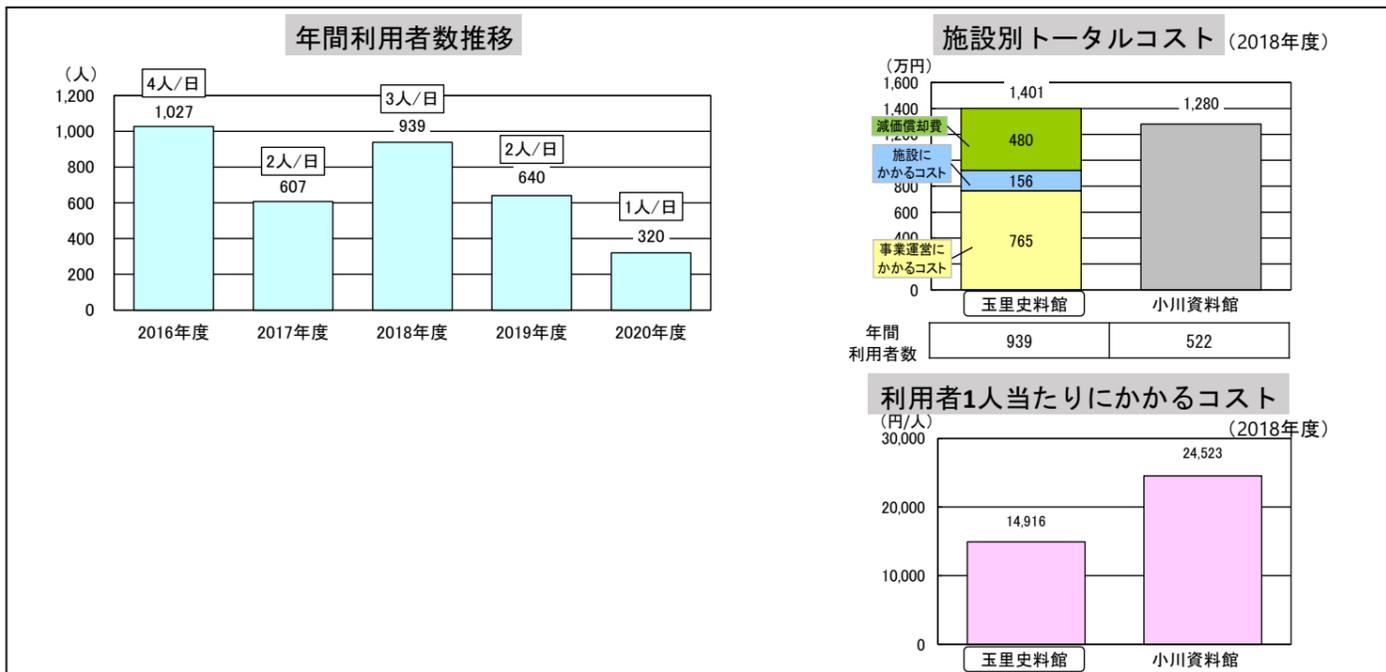


中世の展示



江戸時代の展示

② 利用状況, コスト状況



コストデータ：「小美玉市公共施設等総合管理計画」より

# 公共施設等の適正な管理に向けた『基本方針』（小美玉市公共施設等総合管理計画）

1 適切な維持管理による財政負担の軽減	建替えと長寿命化改修を併用しながら、施設の優先順位づけを行い、財政と連動した計画的な維持・保全を確実に実施します。
2 将来のまちづくりと連動した適正配置	時代のニーズにあった市民サービスを提供するため、施設重視から機能重視の視点で、利用実態に応じた機能の見直しを図ります。
3 継続的な計画の見直し	総合管理計画は長期的な計画となっているため、必要な情報を一元化し、変化へ柔軟に対応しながら、継続的な計画の見直しを繰り返して計画を推進していきます。
4 資産の長期的かつ安定的な運用	借地の解消及び公用財産取得への転換や、跡地・遊休地の売却・賃借し、更新費用に充当するなどにより、資産の長期的かつ安定的な運用を行います。
5 市民・民間事業者との協働	具体的な計画の実現に向けては市民との合意形成が不可欠となります。必要なデータを適宜提供しながら、市民と協働で推進します。

数値目標
延床面積
今後40年間で30%削減を目指す



## 前回の主な意見

- 小川地区の地域交流の場所、生涯学習の機能整備が必要
  - ・生涯学習の機能がないとまずいのではないかと。公民館機能を移転・分散すると言っても、公民館利用者は高齢化になってきて、夜だけでなく、昼間でも車を運転するのも危ない状況がある。
  - ・公民館機能を図書館・資料館と一体と考えて、生涯学習の充実を図ってはどうか。
  - ・必要最低限でも地域の方々が集まり議論できる場所が必要ではないかと。
- 防災機能・避難場所の確保、公園の整備
  - ・旧小川小学校と小川公民館は指定避難場所になっている。災害の拠点、避難場所となるようなそういった施設が必要ではないかと。
  - ・公民館機能を残しながら、それが避難場所も兼ねるようなものが必要ではないかと。
  - ・広い校庭も活用して、防災基地・防災拠点としてはどうか。
  - ・旧小川小跡地のグラウンド側に、遊具の整備をしてほしい。
- 図書館、資料館の充実が必要
  - ・現状の小川図書館・資料館の場所は、道路から見にくい、行きにくい。
  - ・小美玉市には3地域にそれぞれ図書館があるが、小川図書館が一番充実している。今後も、充実させて有効活用していく必要があるのではないかと。
  - ・図書館は、遠方から来る人もゆっくりできるようなゆとりある場所になるといい。
  - ・今のままの図書館・資料館が残っても、駐車場は少なく、二階にはトイレもないなど不自由なため、活用は広がらないのではないかと。
  - ・図書館を中心に、いろいろな人が集えるような施設づくりができたらいいのではないかと。
- 歴史と文化・教養のある場所の特性を活かす
  - ・もとは中学校もあった場所で、古くから歴史伝統がある由緒ある場所なので、歴史が消えないように、小川地区の文化拠点になるとよいのではないかと。
  - ・市内には、小川資料館のほかに玉里史料館もある。これらを「小美玉資料館」として一つにしてもよいのではないかと。



## 再整備の方向性（基本方針案）

### 1. 歴史と文化の特性を活かした地域交流の場所へ

- ✓市民活動を支える地域交流の場所  
（地域住民の交流、多世代交流の促進）  
（笑顔あふれる賑わいある場所）
- ✓地域資源を生かした新たな場所の整備  
（小川の歴史を学び後世に伝える場所）  
（素鷲神社など地域資源を生かし相乗効果を図る）  
（連続した緑のつながり、自然散策エリア）

### 2. 既存施設、既存敷地の有効活用により魅力ある場所へ

- ✓メリハリのある整備によって、新たな価値や魅力を創出  
（跡地の有効活用）  
（ゾーニングによる魅力ある場所の創出）
- ✓図書館・資料館を活かして、生涯学習・情報発信の場に  
（人があつまる・集える・学びあう場づくり）  
（人と情報に出会う滞在スペースやイベントの実施）

### 3. 安全・安心につながる防災拠点に

- ✓公園を活かした防災機能の確保  
（災害時は避難場所として活用）

#### 基本コンセプト

『歴史と文化の香る魅力ある地域交流の場所の創出』